

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 平成31年3月15日

ホームページ <http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/fujichu/>

◇ 学校教育目標 ◇
自ら進んで学ぶ生徒
人や自然を愛する生徒
健康でねばり強い生徒
《校訓：自主・敬愛・根気》

「学校への思いを受け止めて」

副校長 佐藤 孝男

今年度保護者の皆様にご協力いただいた「学校評価アンケート」ですが、20の質問項目に対して「1-あてはまる、2-ややあてはまる、3-あまりあてはまらない、4-あてはまらない、5-分からない」の五つで回答をお願いしました。昨年度までは1と2の合計が80%以上を目標にしてきましたが、今年度以降は「1-あてはまる」の数値が高くなるように取り組んでまいります。ちなみに保護者の皆様の回答（1-あてはまる）は、20の質問項目で、平均36.3%でした。項目別に見ると、「20-小中一貫型教育校として小学校と連携した取組を行っている」が21%と低く、次いで「14-あいさつ、返事、言葉遣いなどの礼儀を身に付けることができている」が23%、「12-基本的な生活習慣や社会性・規範意識が身に付いている」が25%という結果でした。

質問項目20の小学校と連携した取組については、「運動会などの行事を一緒に行うことで連携が明確になる」といったご意見をいただきました。行事とまではいきませんが、・あいさつボランティア・ボランティア清掃・リトルティーチャー・出前部活動・運動会の招待リレー・絵本の読み聞かせ・授業協力など様々な活動を行っていますが、保護者の皆様には十分周知されていないということを課題にして改善策を図っていきます。質問項目14のあいさつ～については、「あいさつ日本一の学校」を目指している富士中にとっては大きな課題です。我々教職員から積極的に働きかけながら、あいさつを交わすことが自然にできるようにコツコツ進めてまいります。質問項目12の基本的な生活習慣～は、食事、睡眠、提出物、登下校時のマナーなどが関係しているかと思われます。学校外においても富士中生としての自覚をもって行動できるように指導していきます。

比較的評価の高かったのは、「17-学年だより、学校だより、ホームページなどで学校や生徒の様子を保護者、地域に伝えている」、「18-学校行事、学年行事は自分たちにとって充実したものになっている」がともに49%、「2-学校全体の雰囲気は明るく、活動的である」、「充実した学校生活を送ることができている」がともに46%でした。学校や生徒の様子を分かりやすくお伝えすることができるように、今後も工夫をしながら取り組みます。また、生徒が明るく、充実した学校生活を送ることができるように保護者・地域の皆様にもご協力をいただきながら進めていきます。

最後になりますが、3月9日、10日に実施いたしました展示会には保護者・地域の方々、教育関係者の方々を合わせ、延べ100人を超える方がご来校くださり、生徒の学習の成果をご覧いただくとともに励ましの言葉やお褒めの言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。またこの1年間、本校の教育活動が充実して滞りなく進められ、ご協力・ご支援いただきましたことに対し重ねてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

被爆証言の会

3月7日（木）に平和学習として、「被爆証言の会」より「被爆体験伝承者」の山岡美知子さんをお招きして、2年生を対象に広島原爆についてお話をいただきました。

終戦より70年以上がたち、被爆者の高齢化に伴って、被爆体験をお話しされる方が少なくなってきています。「被爆体験伝承者」というのは、原爆の恐ろしさを忘れないために広島市が養成した、被爆体験証言者の被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを伝えるために3年以上の研修を行った方々のことです。

今回の講話では、アメリカ側の視点で見た原爆に関する真実や、目を背けたくくなるような原爆投下後の被害の様子などがあり、改めて原爆の恐ろしさや平和について深く考える機会になりました。

また、修学旅行で行く広島平和記念資料館に展示されているものに込められている想いや背景についても解説をいただき、修学旅行に向けた事前学習として、とても充実したものになりました。（2学年 橋本）

- 原爆について話を聞いて、とても悲惨で、写真で見てもとても痛々しかったです。
- 原爆のことについて知っていたかと思っていたけど、さらに詳しいことがわかりました。今日の話のことを頭で考えながら、広島での修学旅行に行こうと思いました。
- 戦争について、私達の世代は全然わからないけど、原爆で今も苦しんでいる人がいると聞いてとても怖かったし、二度と戦争を起こしたくないと思いました。
- 最初から最後まで辛い気持ちがおさまりませんでした。広島に行くのが怖いと思うほど、お話が衝撃的でした。8月6日が晴天でなければ、どうなっていたのかなと思いました。



サイエンスクラブ発表会で自然科学部発表

3月2日（土）に八丈サイエンスクラブ平成30年度活動報告会が八丈町商工会研修室で行われ、自然科学部は、ゲスト発表として5つの研究を発表してもらいました。「ヤブニッケイもち病菌の研究Ⅲ」佐藤羅誉 「甲虫の後翅の研究」光常晃弘 「落ち葉の吹き溜まりの研究」及川 空 「双翅目の平均棍棒の研究」田村琉之介 「美しくするための炎色反応の研究Ⅲ」吉川 亮 5人とも堂々と分かり易く自分の研究について説明ができていて、そのレベルの高さにびっくりしました。サイエンスクラブの小学生や会場の方々も興味深そうに聞いていました。生物研究者でもある講師の石田裕幸氏に、どの研究も面白くて、ぜひ大学院まで研究を続けてほしいとほめられたりアドバイスをもらったりして、自信や今後の励みになったようでした。大勢の人々の前で発表する際は、たいへん緊張していましたが、貴重な体験をさせていただき今後の研究活動に活かせることができました。

（自然科学部顧問 川畑）

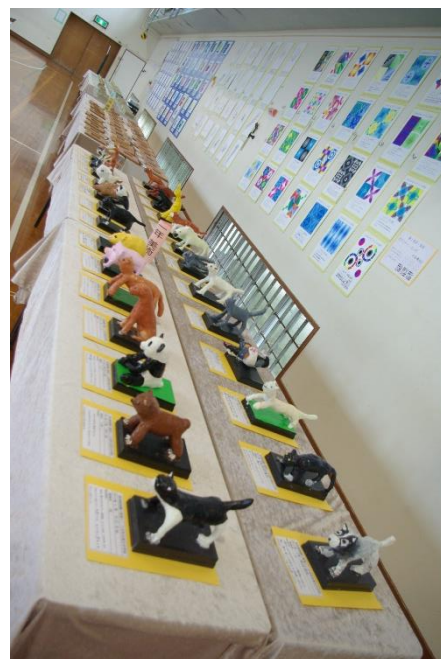


展示会を終えて

3月9日（土）、10日（日）の展示会では、多数の地域の方や保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。授業や部活動、委員会など、一年間の生徒達の頑張りや成果が体育館中に展示されたとても良い行事となりました。

また、3年生は、総合で取り組んできた「テーマ別学習」を1、2年生と地域の方へ発表しました。「テーマ別学習」とは、社会（世界）で起こっている問題や課題を自ら探し、調べ、考え、まとめたものです。さらに、今年度は、特別発表として、自然科学部の「ヤブニッケイもち病菌の研究Ⅲ」も発表しました。大勢を目の前にして話すのは緊張したと思いますが、一人一人が堂々と自分の意見を伝えており、素晴らしかったです。

展示会後の生徒達の鑑賞レポートを見ると、他者の展示物や発表活動に対して「すごかった」「自分もやってみたい」等の感想がたくさん書かれています。様々な人の頑張りに気づき、感動できるのも、この展示会の魅力だと思います。その感動を、ぜひまた来年度の活力につなげていってください！実行委員を中心とした、準備や片付けもお疲れ様でした。



（展示会担当 棚橋）

公立学校美術展覧会（美術科、家庭科、書写）

2月13日（水）～19日（火）、第68回東京都公立学校美術展覧会が、上野の東京都美術館で開催されました。毎年、代表生徒の作品を出展している展覧会です。本校からは、美術科、家庭科、書写の作品を出展しました。

都内全域の小・中学校の作品が集まる大規模な展覧会で、その作品数の多さと華やかさに毎年驚かされますが、遠方でなかなか足を運べないのが残念です。展覧会后、2月23日（土）～26日（火）に八丈町役場の町民ギャラリーで、八丈町からの出展作品を展示しました。東京都美術館、町民ギャラリーでご参観いただきありがとうございました。

（美術科 棚橋）



美術科

グラデーションの平面構成 1年：

彫刻動物園～塑造～ 1年：

絵文字 2年：

大切な一枚を飾ろう～木彫額～ 2年：

スクラッチ 3年：

私の篆刻印 3年：

家庭科

ファイルカバー 1年：

お雑煮調べ 2年：

幼児触れ合い体験用名札 3年：

書写

花鳥風月 2年：

平成 2年：

P連作品展

2月16、17日にP連作品展が三根小学校にて行われました。本校の文化部では、アクセサリー、お菓子作り、チーズ作り、流木ランプ、キャンドル、リース（かご）作り、寄せ植え教室を開催し、作品を温めてまいりました。他にも個人で製作した作品や八丈島がロケ地となった映画の写真が、展示ブースを盛り上げていました。

文化部の皆様、準備から当日の受付、片付けまで段取り良くスムーズに進めていただきありがとうございました。また、作品を出品していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今年度も各教室やP連作品展を通して、保護者の方と関わることができたことを大変嬉しく思います。（文化部担当 田後）



富士中学校吹奏楽部 第13回 定期演奏会♪

日時 3月24日（日）14：00開演 場所 2階音楽室

合同演奏 『三根小学校 子どもアンサンブル』のみなさん

ぜひお越しください♪

今後の主な予定

- 3月20日（水） 卒業式
- 3月22日（金） 大掃除
- 3月24日（日） 吹奏楽部定期演奏会
- 3月25日（月） 修了式
離任式

